



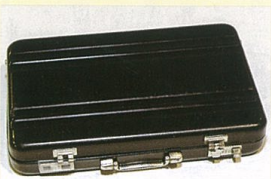
「カスれるナビ」

「人の頭は、使わなければ衰えていきます。スマホを頼りにするだけではなく、擦れるからこそ自分の頭で覚えようとするのです」と先生は言います。地図の擦れた部分は、自分の記憶で補います。



ドリル状に削った鉛筆

鉛筆をナイフで削るのは不便に思いますが、だからこそ削り方を工夫したり、削り方が上手に達していたり、鉛筆に愛着が湧いたりするのです。



壊れた名刺入れ

元は左側にも鍵のフックがあったそうです。フックの側のボタンを押すと、フックが跳ね上がり解錠できたはずですが…。不便だからこそ「自分だけ感」がある、と川上先生は言います。

ものさしは便利すぎる…じゃあ、不便にしてみましょう
不便益の研究をしていく中で、私は人々が実際に「不便の利益」を感じられるものを作りてきました。その一つが「素数ものさし」です。通常、ものさしには1mmごとに目盛りが付いていて、物の長さを測つたり、図形をかいたりするのにとても便利ですよ。そこで私は「じゃあ、目盛りを歯抜けにして不便にしよう」と考えました。ただ、偶数や奇数だけでも目盛りは歯抜けですが、規則性があるため、さほど不便にはなりません。数字をランダムにしたけれど、「利益」もないため。そこで、素数のみを残すことにしたのです。この素数ものさし、頭を使えば目盛りの間でたいの長さの線を引くことができるのです。

よ。例えば、2と3の間は1cm、3と5または5と7の間なら2cm、2と5の間なら3cm、3と7の間なら4cmという具合です。このパズル性が頭を働かせ、「使って楽しい」ものさしになりました。
開発中の「カスれるナビ」もここで紹介します。なんと、自分が通った道がだんだんと擦れていく歩行者向けスマホアプリです。使う人は「道を覚えなさい」という緊張感を持ちますね。自分だけのオリジナル地図を作っていく楽しみもあります。
便利を追求するだけでは見つけられない・得られないメリットは、たくさんあります。皆さんも、ぜひ見つけてみてください。例えば、電動の鉛筆削りを使わず、ナイフで鉛筆を削ってみてください。ドリル状削りなど、手作業ならではの創意工夫を楽しめる余地を実感できるはずですよ。

先生のこと、もっと知りたいっ！

*2 素数とは、1とその数字自体の他に正の約数がない自然数のこと。2、3、5、7、11、13…など。

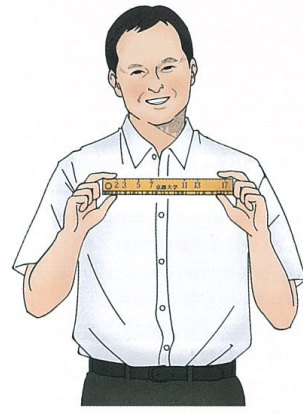
教先生へ

研究っておもしろい!

大学や企業の研究室を訪ね、好奇心の芽を見つけよう!

第4回 不便益を追求してみよう

今回の先生は…



京都大学 情報学研究所 特定教授 かわかみ ひろし 川上 浩司 先生



これが「不便の利益」を感じられる「素数ものさし」です。京大生協で売っている「素数ものさし」は、目盛りが素数だけのものさしです。皆さんは使いこなせるでしょうか。上側の単位はcm、下側はmmです。値段は税込みで577円。値段の理由は、わかりますよね?



川上先生の『不便益のススメ』新しにデザインを求めて『追波書店』でもおすすませます。

マナブとサクラのここに注目!



「不便益」は「不便がもたらす利益」のことだよ。不便だから得られる楽しさがあるんだ。



先生が考えた「素数ものさし」も「カスれるナビ」もおもしろそうだね。使ってみたい!

「便利」は良いこと、「不便」は良くないこと。科学や技術が進歩し続ける世の中は、どんどん便利になっています。忙しい現代人は「効率化」という言葉が大好きです。「効率化」を追求していくと、あらゆる物事が「便利」になります。一方で、不便な物事に対しては、多くの人が損や浪費といったネガティブな印象を抱きます。しかし、実は「不便」の中にも、少なからず利益はあるのです。私は、そんな不便さがもたらす利益「不便益」について研究しています。
「不便益」の研究は2000年頃から始めました。当時は、動物と触れ合い、自分の心身をより良くする「アニマルセラピー」が流行っていました。アニマルセラピーは、違った視点で捉えると「動物をわざわざ世話するという手間をかけること」ですよ。まがいがい探しクイズも知恵の輪も、頭を使い手間をかけるから楽しいし、脳にも良い効果があるとも考えられます。皆さんも、家の玄関から校門まで、毎日車で送り迎えがあると便利で楽ですよ。しかし、それでは足腰は衰え、友達と楽しく会話をしながら歩くこともなくなります。そう、不便さは、必ずしもマイナスのことばかりではないのです。

「便利」は良いこと、「不便」は良くないこと。

*1 作業などがはかどるようにすること。